



可愛らしいアルパカとウサギの電飾を楽しむ児童たち

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

幻想的な光楽しみ笑顔

サラダファームヴィレッジでイルミネーション

(株)サラダファームは11月5日、田頭・平笠の学童保育クラブに通う児童約60人のカウントダウンの掛け声に合わせてイルミネーションの点灯を行いました。

LED電球約35万個を、四季をイメージして装飾。電飾を満喫した平笠小1年の工藤心春さんは「ハートがあったり、キラキラしたりしててきれいだった。次はお母さんと一緒に来たい」と目を輝かせました。

イルミネーションは令和4年2月末までの土日祝日、午後4時半から7時(最終入園6時半)まで楽しめます。



アルパカのモモと春をイメージした「モモちゃんの桜ロード」



スタートの合図と共に元気よく駆け出す年長児

1位目指してよういどん

東慈寺保育園で初のマラソン大会開催

東慈寺保育園マラソン大会は10月19日、同園付近で開かれ、さわやかな秋晴れの中、年少から年長までの園児44人がゴールを目指して駆け抜けました。

田頭小のマラソン大会に刺激を受けて開催。園児たちは、保護者や同園に通う未満児の声援を受けながら園庭と寺の境内を周回するコースを精一杯走りました。

年長組で1位になった畠山叶夢ちゃんは「とってもうれしい。つかれたけど楽しかった」と肩で息をしながらにっこり笑いました。



JR花輪線好摩駅～大館駅間全線開通90周年を記念した列車が運行(10月17日、花輪線90周年記念号)



市とクラブツーリズム(株)が地域資源を生かした観光振興などに関する協定を結ぶ(11月4日、市役所)



ICTを活用した持続可能な遠隔診療・見守りを推進(10月20日、市メディテックバレーシンポジウム)



参加者に市の考えを伝える佐々木市長

教育について意見交換

市PTA連絡協議会と市長との懇話会

市PTA連絡協議会(畠山章弘会長)は10月28日、「新市長がめざす教育について」をテーマに、同会と市長との懇話会を開きました。

懇話会には市内小中学校と平館高からPTA会長などが参加し、児童生徒数の減少や多様化する教育活動などの意見交換を行いました。

参加者はスクールバスの利用やICTの活用、ふるさとを大切に教育などに対して、市と市教育委員会の考えに耳を傾けていました。



安代地区出席者を代表して褒状を受け取る宇土沢夫婦

夫婦の絆はダイヤモンド

結婚60周年を迎えた夫婦を祝う

市ダイヤモンド婚を祝う会(市社会福祉協議会主催)は11月12日、いこいの村岩手で開かれ、対象42組のうち出席した13組に褒状が贈呈されました。

宇土沢孝男さん(86)とスミ子さん(81)夫妻=荒屋新町=は「子育てや仕事など大変なことばかりだったけどふたりでこの日を迎えられてうれしい」と互いに労をねぎらいました。祝宴では、昭和30年から40年までの県内の出来事をまとめた「県政映画」が上映され、当時の思い出に浸っていました。

体の土台のゆがみを改善

骨盤体操で体の悩みを軽減

(一社)市体育協会は10月19日、市総合運動公園体育館で骨盤体操教室を開き、腰痛や肩こりなどの悩みを抱える26人が参加しました。

鍼灸整骨院うさぎ堂の高橋淳一院長を講師に開催。参加者は模型を使った解説を受けたり、教室の前後に骨盤のゆがみを確認したりして体の基礎となる骨盤の役割に理解を深めました。参加した箱崎義弘さん=安比高原=は「じんわりと汗ばんだ。体が少し軽くなったように感じるので続けたい」と意欲を燃やしました。



骨盤がゆがむ原因となる筋肉の凝りをストレッチでほぐす

平和を願う想いを描く

国際平和ポスターコンテスト入賞者を表彰

西根ライオンズクラブは11月10日、第34回国際平和ポスターコンテスト表彰式を市商工会館で行い、入賞者13人に賞状が手渡されました。

「私たちはみんなつながっている」をテーマに西根・松尾地区の小中学生79人が応募。それぞれの思いを鉛筆やクレヨンなどを使い、描き上げました。

最優秀賞を受賞した井上香穂さん(大更小5年)は「受賞できてうれしかった。世界が明るくなってほしい」と平和を願いました。



最優秀賞受賞者(左から)矢幅さん、今村さん、井上さん



各企業の取り組み事例が紹介されました

違いより共通点を見る

フードダイバーシティの取り組みを学ぶ

食の多様性フォーラムは11月8日、市役所多目的ホール棟で開かれ、参加者はヴィーガンやベジタリアンなどの食文化を学びました。

県内の飲食店や観光業に携わる人などオンライン参加も含め46人が参加。多様化する食文化への県内事業者の取り組みや考え方などを紹介しました。

(株)八幡平DMO代表取締役の畑めい子さんは「ヴィーガンの人に対応したメニュー作りなど、できることから取り組んでいきたい」と展望を語りました。



市内15カ所の投票所で有権者が一票を投じました

鈴木氏が通算10選果たす

第49回衆議院議員総選挙の開票結果

衆議院解散に伴う第49回衆議院総選挙は10月31日、投・開票が行われ、岩手2区で、鈴木俊一氏が14万9,168票を獲得し、10回目の当選を果たしました。

本市の得票数は、大林正英氏3,326票、荒川順子氏205票、鈴木氏8,403票。投票日当日の有権者数(小選挙区)は2万1,674人で、投票率は55.80%と前回(平成29年衆議院議員総選挙)の56.97%を1.17%下回りました。期日前投票者数は5,445人で、投票率は25.08%と前回の24.50%を0.58%上回りました。

すなっぶギャラリー



市農業委員会が親元就農者への支援など5項目にわたる意見書を市に提出(11月5日、市役所)



認知症を知り、高齢者などを思いやる講座を松野小で開催(11月10日、認知症サポーター養成講座)



地域に支えられながら創立30周年を迎えた(福)安代会(11月10日、ふれあいセンター安代)



10月10日で100歳を迎えられた遠藤富美子さん=野口=これからもお元気で(10月11日、自宅)



遺族や関係者ら約80人が戦没者の冥福を祈り献花を捧げる(10月14日、市戦没者追悼式)